

2014年4月号

今月の主張

社会保障の充実へ消費税率を引き上げ
将来へ向けて診療報酬も改定
—制度を維持するための改革に注目—

事業年度が区切りとなるこの4月は、多くの企業で新規採用や配置転換などが行われます。そうした職場での異動にあわせて、健康保険証が切り替わった方もいらっしゃるでしょう。お手元の健康保険証は、健保組合に加入していることを示す証書で、就職したり職場が変わると、加入する健保組合も変わることがあります。

4月で変わるのは人事だけでなく、ご存じのとおり消費税率が8%へ引き上げられました。税率の引き上げは、社会保障制度の改革と財政健全化の同時達成を目指す「社会保障・税一体改革」の一環として定められたものです。

社会保障は、少子化により支え手の現役世代が減少する一方、高齢化や社会の変化などに伴って医療費などが増加しており、国はそれを補うため、これまで借金を重ね将来世代へ負担をツケ回してきました。こうした負担の先送りをやめていくことが一体改革の狙いとなっています。

とはいえ、一体改革はまだ、道半ばです。消費税収分を医療・介護、年金、子育ての社会保障4経費に充てることは決まっていますが、来年10月からの消費税率10%への引き上げを正式に判断するのはこれからで、この時の制度改革の内容はまだまとまっていません。

とくに医療保険制度においては、高齢者の医療費が顕著に増大しており、その費用に充てるため、皆さんから頂いている健康保険料の約半分を強制的に拠出しなければならない仕組みとなっています。その負担は、健保組合の財政を破たんさせかねないほどです。これまで加入者の健康を守るために先駆的な取り組みを進めてきた健保組合をはじめとする医療保険制度を将来にわたって維持するために、現役世代への過重な負担を是正することが求められています。

また、消費税率引き上げは、医療費の公定価格を定めた診療報酬の改定にも影響を与えています。改定は2年ごとに行われているのですが、今回は、消費

税率の引き上げにあわせて医療機関が仕入れる薬や設備にかかる増税分を補てんしました。診療報酬全体は0・1%引き上がり、医療を受けたときの患者負担もその影響を受けることとなります。

改定の検討にあたっては、私たち健保組合および健保組合の連合体の健保連などは、会社員などの賃金が伸び悩むなかで、医療機関の経営状況は安定していることから、引き下げ改定を求めましたが、残念ながら、わずかとはいえ医療費を増やす方向のプラス改定となりました。

4月から医療機関での窓口負担が増えますが、一方で今回の改定は、医療が適正に受けられるよういくつかの仕組みを採り入れています。高齢化がピークに達する2025年に向けて、重症患者向けに偏っている病院の病床を縮減し、病期や病態に応じた病床を適正に配置することや、主治医の機能の充実を図ることなどです。また、患者に直接影響する点では、明細の分かる領収書を無料で発行しなければならない病院を拡大しました。

将来にわたり医療保険制度を維持するために、増大する医療費の適正化だけでなく、改革は欠かせません。制度の議論にぜひ注目ください。

けんぽ単語帳

■健康保険

健康保険は、主にサラリーマンとその家族が加入する公的な医療保険で、「健康保険組合」「全国健康保険協会（協会けんぽ）」などがあります。公的な医療保険の最大のメリットは、みんなで健康保険料を出し合うことで、医療機関にかかったときの医療費の支払いを低く（3割負担）抑えることができます。なかでも、健康保険は、サラリーマン本人と勤めている会社が健康保険料を原則折半して負担しているため、本人の健康保険料の負担も低く抑えることができます。

また、産前産後休業中の手当や、病気休業中の手当などが支給されることも健康保険の特徴です。

■健康保険組合（健保組合）

健保組合は、2014年3月1日現在、全国に1419組合あり、加入者が病気やケガで医療機関にかかった際の医療費の支払い（一部負担を除いた7割部分）や、出産や病気で休業中の方への手当を支給するなどの保険給付事業を行っています。

また、家族の健康診断や、病気の予防・早期発見を目的とした健診などの実施、生活習慣病予防のための保健指導、健康教室の開催など、加入者の健康をサポートするための事業（保健事業）にも取り組んでいます。

健保組合では、会社が運営に参加するなど加入者との距離が近いため、加入者のニーズが把握しやすく、健診データを分析することで、特性に合わせた細やかな保健事業などのサービスが実施できるメリットがあります。

その他にも、65歳以上の高齢者の医療費についても支援を行うなど、日本の医療保険を支えています。

治験とは？

【相談】

私（48歳・女性）は先日、不正出血が続いて婦人科クリニックを受診したのですが、検査で子宮体がんと診断されました。そこで、すぐに大学病院に紹介状を書いてもらって、受診しました。すると、診察前に問診票を記入する際、治験に関する書類も一緒に渡されたので、何も考えずに署名して提出しました。その後を受けた診察では、ドクターから治験の話は一切ありませんでした。

帰宅して夫にそのことを話すと、「治験なんて、説明もなく同意したらダメだ」と言われてしまいました。提出したものの私も不安だったので、翌日病院の婦人科外来に電話をかけて、提出した同意書を撤回したいと申し出ました。すると、電話に出た方が「そんなことをする患者さんはめったにいませんよ」と困ったように言われたのですが、しぶしぶ撤回を認めてくれました。

なんの説明もなく同意書に署名を求められたことで、なんだか騙されたような気がしています。それに、つぎに診察に行ったときには、ドクターの横にもう一人白衣を着た人がいて、なんだか圧迫感を感じました。治験を拒否したことで、何か圧力をかけられたり、今後の治療に悪影響が及んだりしないでしょうか。

【コメント】山口育子（COML）

新しく薬が開発される際、健康な成人や患者さんを対象に行われる臨床試験を“治験”と言います。治験は「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令（GCP）」に則って行うことになっています。そのため、治験を勧める場合は口頭と文書による説明が必要で、受けるかどうかは患者さんの自由意思によること、断わることや途中でやめることも自由で、断ってもその後の治療に影響を及ぼさないことが前提条件になっています。

ですので、なんの説明もなく治験の同意書を求めるというのは言語道断です。また撤回を求めてきた患者さんにプレッシャーをかけるような言い方も許され

ません。また、臨床研究コーディネーター（CRC）と呼ばれる中立的立場の専門家もいます。看護師や薬剤師が兼務していることもあり、見た目には判別しにくいのですが、今後治験のことで迷われたらCRCを訪ねてみられてはいいかがでしょうか。

2014年4月号

離れて暮らす親のケア [いつも心は寄り添って] vol.25

NP0 法人パオッコ ～離れて暮らす親のケアを考える会～ 理事長 太田差恵子

健診にじょうずに連れ出す方法は

介護を受けたり病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間を「健康寿命」といいます。2010年の健康寿命は男性70歳、女性73歳で、同年の平均寿命は男性79歳、女性86歳と、男性で9年、女性では13年の差があることが分かります。

自分の親には、自立した暮らしを1日も長く保ってほしいというのが誰しもの切実な願いでしょう。

自立した期間を延ばすためには、食生活や運動など日々の心掛けが大切なのはもちろんですが、定期的な健診も重要です。自治体などでは、後期高齢者を対象とした健診を実施しています（無料もしくは低料金）。なかには人間ドック費用の一部を助成するところも。しかし、健診に行きたがらない親も珍しくありません。

先日、こんな女性に会いました。夫の両親は病院も健診も毛嫌いしているとのこと。そこで一芝居打ちました。「夫のからだに心配で人間ドックに行かせたいのに嫌がるんです。お義父さん、お義母さん付き合ってくださいませんか」。すると、義父母の方から息子に「私たちも行くから、一緒に行こう」と誘ってくれたのだとか。「結局、私たち夫婦と義父母の4人で人間ドックに行ってきました。ついでに脳ドックも。お金はかかりましたが、とりあえず安心できました」と女性はにっこり。他にも「75歳を過ぎたら全員『脳ドック』を受けることが決まっているのよ」と言い、親を連れ出すことに成功した体験談を聞いたこともあります。時には、嘘も方便ということでしょう。

2014年4月号

温泉 de 健康に vol.25

温泉と宿のライター 野添ちかこ

第25湯 吉奈温泉（静岡県・伊豆市）

伊豆最古の“子宝の湯”

高僧、行基によって開かれた吉奈温泉は、江戸時代から伝わる“子宝の湯”。

徳川家康の側室、お万の方が湯治に訪れた際、当時は造り酒屋であった「さか屋」を訪れ、2人の子を授かったことから「霊泉子宝の湯」として有名になった。

子宝の湯をうたう温泉は、よく温まる泉質が多いが、吉奈の湯もいつまでも湯冷えしにくい温まりの湯。お湯は無色透明でくせがなく、熱すぎず、ぬるすぎず、ちょうどよい温度でゆったり長湯ができる。

「善名寺」でのご祈祷手配、カニやざくろなど子宝食材を使った料理などをセットにした「子宝の湯プラン」は、子どもを授かりたい夫婦に人気だ。

日本を代表する芸術家、岡本太郎ゆかりの宿で、館内に作品が飾られているほか、氏がデザインした遊び心ある「太郎さん風呂」もある。

駿河湾の桜えびなど伊豆天城の山海の幸を使った創作会席は上品な味わい。料理自慢の宿でもある。

温泉DATA

泉質：単純温泉

特徴：加温、加水、消毒なしの100%かけ流し

御宿さか屋 TEL：0558 - 85 - 1100

2014年4月号

追ってけ！カルチャー vol.37

岡田俊則

魂を揺さぶる太鼓の音に浸る

ドンドンドコドドン！ 大地と共鳴するような迫力ある音が腹の底に響く。舞台には大小の和太鼓がいくつも並び、勇ましい姿の男を中心とした演奏者たちが力強くバチを振り下ろす。「鼓童」のステージが始まった。

「鼓童」は、日本の伝統的な音楽芸能の、現代への再創造を試みるプロの和太鼓集団。1981年に結成され、ベルリン音楽祭でデビュー。佐渡を拠点にしながら、これまでに46カ国で3,700回を超える公演を行っています。そんな経歴からもわかるように海外での評価は高く、2001年には日本人アーティストとして初めて、ノーベル平和賞コンサートへ出演。まさに日本を代表するアーティストたちなのです。

勇壮で荒々しい和太鼓の音。そこに繊細で美しい、もうひとつの和の感性が交わったら。そうして生まれたのが「鼓童ワン・アース・ツアー～神秘」。芸術監督に坂東玉三郎を迎えた舞台。民俗芸能の神聖さや祈りにある“神秘”を再現して、闇と光の交差する空間を演出したという鼓童の最新作は、玉三郎がもつ独特の美意識と鼓童のダイナミズムが融合した傑作。日本の伝統芸能の可能性を垣間見ることができます。

「鼓童」の読みの音は、人間の基本的なリズムである心臓の鼓動から。“童”には子どものように無心で太鼓を叩きたいという願いが込められています。

原始の時代から鳴らされてきた太鼓の音。そこには人間の魂を揺さぶる絶対的なパワーがあります。だから「鼓童」のパフォーマンスは、国境を越えて多くの人を惹きつけるのかも知れません。

「鼓童ワン・アース・ツアー2014～神秘」

深淵な“神秘”の世界を生みだす、坂東玉三郎演出による「鼓童」の最新作。5月10日の鹿児島を皮切りに大阪、新潟、東京などを巡ります。